

□議員名：白井 健一郎

1 LABV の学生寮によるまちづくり

論点	小野田商工会議所や山口銀行小野田支店と学生寮が共存することで、新たな価値を生むためにどのようなことを考えているか。
回答	小野田商工会議所、山口銀行、いずれも地域の実情を熟知された地域経済のキーマンであり、中間支援的なつなぐ役割で、将来の地域経済発展につながる多くの効果を期待している。新たな価値創出のための持続的な事業展開の力強い後押しとなると考えている。

論点	工学部、薬学部生がアプリの開発などをして会社をつくりたいとなったときに、商工会議所や山口銀行などがバックアップをするということは考え得るか。
回答	学生と市、山口銀行、小野田商工会議所、合同会社がつながって、起業創業支援やチャレンジショップ、トライアル機能、人材育成、DX、このあたりを考えている。

論点	市民活動センターを学生が有効利用し、市民との交流を図ることによって、様々な市民活動に学生が積極的に参加できるようになるためには、どのようなことを考えているか。
回答	学生が市民活動に参画できるよう、地域づくりに関心のある学生のニーズを収集し、思いを共有する学生同士の市民活動団体の立ち上げの支援、学生と様々な市民活動団体とのマッチングによる活動の充実を図っていききたい。また、学生の市民活動に係る意識の醸成も重要であることから、学生がAスクエア等において、主体的に参加する講座やイベント等を開催し、学生や市民、市民活動団体が交流、相互理解を深める機会をつくってまいりたい。

論点	住吉本町、平成町、中央、セメント町等の近隣地区を楽しく散歩ができるまちにしてみてもどうか。特にセメント町では、空家等利活用支援事業の補助額上限が引き上げられたが、市はセメント町を具体的にどのような通りにしたいのか。
----	---

回答	Aスクエアを含むおよそ半径1キロ圏内のエリアマネジメントにより、交流人口の増加や活気を生み出すための官民連携によるまちづくりを目指す。セメント町周辺の町なかに学生の流れができ飲食店の進出など周辺環境の変化が期待される。地域資源の活用や居心地がよく、歩きたくなる環境の整備や中心市街地の交流促進や市の魅力を知ってもらうきっかけになる効果も期待でき、本市が進めるスマイルエイジングの推進の観点からも有効な取組と考えている。
----	---

論点	セメント町を特別扱いにした理由を教えてください。
回答	Aスクエアの後ろに併設するセメント町商店街のにぎわい創出というのは、今回のプロジェクトの試金石になるものではないかと判断して、セメント町商店街への空き店舗の利活用についての補助上限を上げ、呼び水支援をとっているを行っているところ。

論点	私が本市で一番好きな所は、空が広いことである。しかも温暖な気候で晴天の空である。この辺りを歩いて楽しむために、花壇を置き歴史掲示板を設置し、また道路標識を細かくしてみるという工夫をしてはどうか。
回答	Aスクエアを起点にした1キロ圏内のにぎわい創出ということが今回のプロジェクトの目指すところなので、ウォーカブルという観点も、その中に含まれるかと思う。まずは、あのエリアをどう魅力化させていくか、関係者とともに今から取り組んでまいろうと思う。

論点	Aスクエア以外のL A B V事業3か所は、現段階でどういう開発予定になっているのか。
回答	事業パートナーからの提案段階では、山口銀行小野田支店跡地は、大学や企業と連携し、デジタル技術を活用した事業創出や企業経営をサポートする機能を有したインキュベーション施設、高砂用地については、ホテルなどの宿泊機能、中央福祉センター跡地は、賃貸集合住宅などの居住機能を持つ施設の整備が挙げられている。

論点	L A B Vが近隣地区だけでなく、厚狭や埴生地区の住民を含めた市民全体の利益に結びつくためには、どのような工夫が必要か。
回答	エリアマネジメントとは、地域課題に対して新しい価値を生み出すという意義だが、これはつまり、今あるものを維持、向上させていくこと、それから新しいものをつくり出すということに言い換えられると思う。厚狭地区、埴生地区という例示だが、この維持する、新しくつくるというエリアマネジメントにつきましては、地域の実情に応じて行われていくものだと考える。

論点	社会的地位のあるものは進んで善行しなければならないとして、ノブレス・オブリージュという言葉があるが、例えば寮生活の自律的運営とか町の掃除とか、その他諸場面において、理科大生にどのようなことまで求めたいか。
回答	市の立場として、学生のほうにあれをなさいということは一切なく、やはり学生の自発的な活動によるところが大きい。あくまでも学ぶことが本分。学生がただ寝に帰るだけということは、L A B V内にあるので、そのようなことはないように、いろいろ今から仕組みづくりはしていきたいということを考えている。